

令和6年度課題別研修

「【社会、地歴・公民】地域素材を活用した授業づくり」開催要項

- 1 目的 学習指導要領の趣旨を踏まえ、愛媛県内の身近な地域を事例とした、郷土資料の収集及び郷土資料を活用した教材や、授業改善の工夫について、公民学習を切り口に考え、授業力の向上を図る。

【指標の観点（キーワード）】

「実践的指導力（教科等指導力、えひめ人材育成力）」

- 2 主催 愛媛県教育委員会

- 3 期 日 令和6年10月8日（火）

- 4 会 場 愛媛大学教育学部 多目的講義室2（3号館4階）

〒790-8577 愛媛県松山市文京町3番

愛媛新聞社本社

〒790-8511 愛媛県松山市大手町1丁目12-1

- 5 受講対象者 小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校
社会科、地理歴史・公民科担当教員

- 6 日 程

9:40 ～9:50	9:50～10:50	11:00～11:50	12:00～12:50	14:00～15:50	15:50 ～16:00
開講式 （多目的 講義室 2）	講義 「主として公民的な 内容での地域素材の 活用について」 （多目的講義室2） 愛媛大学教育学部 教授 鴛原 進	講義 「学習指導要領での 地域学習の取扱いと 指導の実際」 （多目的講義室2） 総合教育センター 室長 加藤 伸弥	講義 「地域素材を活用し た学習指導の工夫」 （多目的講義室2） まなび推進課 研究科長 楠橋 佑樹	フィールドワーク 「愛媛新聞社本社見 学」 （愛媛新聞社） 愛媛大学教育学部 教授 鴛原 進 総合教育センター 室長 加藤 伸弥	閉講式 （愛媛 新聞社）

受付は、9:20～9:40に愛媛大学教育学部多目的講義室2（3号館4階）で行います。

講義終了後、愛媛大学及び総合教育センターのアンケート調査を実施します。

- 7 講座内容

講 座 名	内 容
講義 「主として公民的な内容での 地域素材の活用について」	地域素材を活用した、主として公民的な内容における授業づくりについて理解を深める。その一事例として、租税教室や税に関する授業の具体、担当者へのアプローチについて、税理士等の説明を聞き、理解を深める。
講義 「学習指導要領での地域学習 の取扱いと指導の実際」	学習指導要領における地域学習の取扱いや、所属校周辺を事例とした教材化のための資料収集方法、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの社会科授業の改善等について理解を深める。

講座名	内容
講義 「地域素材を活用した学習指導の工夫」	「ふるさと愛媛学」の調査研究成果等の地域素材を活用した学習指導の工夫について理解を深め、身近な地域素材の存在に気付き、活用する技術を身に付ける。
フィールドワーク 「愛媛新聞社本社見学」	愛媛新聞社本社を見学し、身近な「地域」に存在する学習資源を教材化して実践するための、指導力の向上や実践力の強化を図るとともに、地域教材の発見や収集、教材化について考える。

8 持参品

- (1) 筆記用具
- (2) 飲料水等、フィールドワークに必要なもの

9 その他

- (1) 愛媛大学教育学部の「教材研究フォローアップ講座」との共催講座です。
- (2) 講師や講義内容の一部が変更になる場合があります。
- (3) 駐車場はありませんので、自家用車での参加は御遠慮ください。愛媛大学教育学部から愛媛新聞社本社までは各自で移動してください。
- (4) 研修にふさわしい服装で参加してください。ネクタイの着用については、自由とします。
- (5) 昼食は各自で用意してください。愛媛大学生協の食堂も利用できます。
- (6) 研修を受ける際に、個別に配慮（合理的配慮の提供）が必要な場合は、申し出てください。
- (7) 天候の状況等により、やむを得ず中止・延期する場合があります。その際には、各学校に連絡するとともに、センターホームページに掲載します。